政策コメンテーター報告（第2回、意見照会期間：2014年9月24日～10月6日） 薄井 充裕：株式会社日本政策投資銀行設備投資研究所長

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1-1	現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(6月下旬から7月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。		「足踏み状況」（内閣府主管「景気ウォッチャー調査」および民間企業等ヒアリングによる）。
1-2	今後の経済のリスク要因（第1回時点と比較して変化がある場合）、あるいは将来への新たな期待要因について、300字以内でご記入ください。	－	主たるリスク要因については前回コメントのとおり（円安基調が足下強くなっている）。
経済再生と両立する財政健全化			
2	財政健全化に向け、歳出削減等を始めとして様々な取組が考えられますが、具体的取組内容についてのお考えを300字以内でご記入ください。	－	国・地方ともに厳しい財政状況下、深刻化する公共施設の老朽化問題等へ適切に対応していくためには、PPPやPFIなどによる民間ノウハウや民間資金の一層の活用が重要と考えられる。 社会資本の粗資本ストックは約800兆円（2009年度）だが、その更新にあたっては、何よりも案件の「選択と集中」を前提として、(1)工期の短縮、(2)工法の更なる高度化、(3)施設の長寿命化対応など、技術革新を折り込んだ民間ならではの投資効率向上の視点が不可欠だろう。

政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2014年９月24日～10月６日） 薄井 充裕：株式会社日本政策投資銀行設備投資研究所長

質問事項		選択式回答	記述式回答
女性の働き方に中立的な税制・社会保障制度等の在り方			
３－１	どのように女性の働き方に中立的な社会制度を実現していくべきとお考えか、その理由とともに300字以内でご記入ください。	－	ライフスタイルや性別の違いにとらわれない、中立的な社会保障政策の実施が重要である。また、女性の就労を促進していくには、結婚、子育て・介護支援、職場復帰後の処遇改善などの面で、一貫した施策の展開が求められよう。 その意味では、いわゆる103万円、130万円の壁に特化した検討は、数年前の子供手当・児童手当のような混迷した議論を惹起させ、木を見て森を見ずの懸念なしとしない。 男女を問わず、たとえば職種別・技能別の賃金ガイドラインをつくるなど、時間はかかっても中長期に耐えうる施策体系の構築と、それをベースとした税制・社会保障制度の制度設計を望みたい。
３－２	女性の働き方に中立的な制度を論じるに当たって、その背景にある事項（女性が働くことへの人々の意識や職場慣行、男性の働き方、子育て支援等の環境整備、家族のあり方等）について、特に言及すべきことがありましたら300字以内でご記入ください。	－	労働力の4割を占める女性の潜在能力をいかに活用するか― 当行では「女性起業家」に注目し、ビジネスモデルや新たな事業を募集してコンテストを行い、受賞者に対する資金援助やノウハウ提供等を行っている（「DBJ女性新ビジネスプランコンペティション」として過去3回実施。今回[2014年6月]も308件の応募があった）。 社会や経済に変革をもたらす成長事業として女性による新しい視点でのビジネスを育成するためには、本設問で例示されているような諸問題が存在するが、成功事例を積み上げることによって課題克服にむけた具体的な方策も見えてくると考えられ、こうした取り組みが多くのセクターで実施されることを期待している。